

第6回 我孫子市新廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会 会議録（要旨）

開催日時 令和元年12月6日（金）9時30分～16時00分

開催場所 我孫子市役所議会棟第1委員会室

出席者 （委員）

瀧委員長、濱田副委員長、中込委員、出口委員、野本委員、青木委員、古谷委員、伊藤委員

（事務局）

環境経済部 増田部長

環境経済部クリーンセンター 伊藤課長

環境経済部新クリーンセンター建設室 佐野室長、竹内室長補佐、宮本主任主事

国際航業株式会社 森田、伊藤、齋藤、高杉

1 開会

- 2 議題 （1）最優秀提案者の選定について  
（2）審査講評について  
（3）その他

3 閉会

議事要旨

議題（1）最優秀提案者の選定について

---- 1) 提案審査の概要説明 ----

---- 2) 本審査ヒアリング① みどりグループヒアリング----

---- 3) 本審査ヒアリング② あおグループヒアリング----

---- 4) 仮評価 ----

事務局：集計の結果、あおグループが31.85で、みどりグループが36.96点でございます。

---- 5) 討議・検討 ----

---- 6) 非価格要素審査点の決定 ----

事務局：集計の結果、非価格要素審査点は、あおグループが31.37で、みどりグループが36.66点でございます。

委員長：非価格要素審査点は、あおグループがあおグループが31.37で、みどりグループが36.66点となりましたが、異議はございませんか。

委員一同：異議なし。

---- 7) 総合評価点の決定 ----

事務局：開札の結果、株式会社神鋼環境ソリューションを代表とするあおグループ 81.37 点、日立造船株式会社東京本社を代表とするみどりグループ 83.51 点となり、日立造船株式会社東京本社を代表とするみどりグループが最優秀提案者に選定されました。各グループの構成企業は一覧表のとおりです。なお、開札の結果、最優秀提案者の入札価格は入札公告において示した、調査基準価格を下回っております。よって、我孫子市新廃棄物処理施設整備運営低入札価格調査実施要領第 9 条に基づき、市の組織であります調査会を設置の上審査を行い、合格となれば、落札者として決定することとなります。委員会として、この調査会において、特に留意すべき点やご意見等はありませんでしょうか。

委員長：ご報告、ありがとうございます。事務局からの報告のとおり、日立造船株式会社東京本社を代表とするみどりグループが最優秀提案者となりましたが、異議はございませんでしょうか。

委員一同：異議なし。

議題（2）審査講評について

---- 審査講評について説明 ----

委員長：特にこの辺りは強調しておきたいというところがありましたらお願いします。

委員：特に、温室効果ガス排出量低減対策については、電力会社とよく調整して、要求水準書に示した以上の送電量を確保することで、CO<sub>2</sub>を大幅に削減する提案であり高く評価したなど、少し厚く書いてあげればよいと思います。

委員：後々、担保するためにも、きちんと書いた方がいいのではないかと。後で、売電量が少なかったというのを封じるためにも。一言一句残しておいた方がいいのではないのでしょうか。

委員：要求水準書に書いてあることをきちんと実施して下さい。それから我孫子市が施設整備をする時に掲げている基本方針を守るだけではなくて、こういう処理を行い、トラブルがないようにして下さい等を記載し、プラス、提案内容に対して、もう少し頑張りなさいということを書いてあげればよいと思います。新リサイクルセンターを加味した内容を記載し、トータルとしていい施設にならないと意味がないので、それはちょっと頑張ってもらいたい。今回の提案になってる中身、相手の提案に縛られるのではなくて、さっきも言ったように、敷地外に通路を確保することによって、より安全な動線を確保できるとか、そういうことが有り得るので、それは個人的には記載した方がよいと思います。ただ、この講評というのは事業者と言う話と、事務局に言う話がある訳で、委員会としてはトータルだから、誰に言うかは関係なくて、両方書く場合もある。好評の内容は、評価の時に色々な話がでましたよね。それを拾い上げていただきたい。

委員：講評に、低入札価格調査基準価格とカッコで入っているのですが、これについては「市で調査します」位の脚注は入れておいた方がいいと思います。それから、講評について、特に落ちたグループは、提案の内容でこれは公表して欲しくない等があるかもしれないので、念のため確認しておいた方がいいと思います。

委員：総評は、事細かく書く必要ははく、講評も 1、2 行でいいと思います。それで、何が必要かと

いう話は、契約の時に細かい打ち合せをしなければいけない。その時の事柄とこの講評とは別で良いと考えます。

ヒアリングで可能と言っておきながら、契約の時にこれは駄目だというようなことにならないような形にすればいいと思います。契約の時に追加事項が、どんどん出てくると思います。ですから、講評についてはこういう箇条書き的な形でいいと思います。それから、総評については、具体的なものが無くてもいいと思います。この点が良かったとか。1個1個の事柄は必要ないと思います。もっと大きな話でいいと思います。

委員：事務局として、この講評をどう使いたいかです。委員会からもらった書類をどう使いたいか、トータルとして委員会の役割を果たして、こういう評価をしましたということを大きいフレームとして書く。もう1つの使い方は、基本的にはあまり細かいことを書けないので、ヒアリングでやり取りした内容について、提案者に絶対やって欲しいということを書く。契約ということから言えば、今日のやり取りは約束です。やると言ったことをやってもらわないといけない。その言質を取るという意味合いもやり方としてはあると思います。事務局、我孫子市として、この書類を、今後どう使いたいか。委員会からもこう言われていますので実施してください、といった使い方も出来ると思います。また、契約した後の段階で新たな項目については、なかなか聞いていただけなくなってしまうのが普通です。今日、細かいことを申し上げたのは、相手から実施することの言質を取ったつもりでいます。そのための書類として残すという方法もありますが、議事録を作って打ち合せの時に相手と確認しないと駄目だと思います。個人的には、事務局が後で使いやすい、我孫子市にメリットの出るような形で書いておくことも出来ると思います。

委員長：今、委員が言った通りだと思います。ストレートに書いていいかと思います。行数は、講評の方は足りないですから、そういう意味では最も基本的な部分を箇条書きで入れるという形でいいと思います。それから、総評の方については、大きく括ったような形で数行書いていただいていいかと思います。後は、事務局に案を作ってくださいということで、いかがでしょうか。

委員一同：異議なし。

委員長：そのようにしたいと思います。なお、今後の予定でございますが、落札者決定の基本協定の締結および契約協議を経て仮契約を行い、議会の議決をもって本契約となることをご報告いたします。以上を持ちまして、第6回我孫子市新廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会を閉会します。

以上